

平成 27 年 7 月 1 日

血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性白血病患者における多剤併用化学療法時の発熱性好中球減少症に関する検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院血液内科

[研究責任者] 田中 淳司 東京女子医科大学 血液内科学 教授・講座主任

[研究の目的] 急性白血病の治療法の進歩に伴い向上しつつあります。その一方で抗がん薬による治療中は、抵抗力が落ち、健康な人にはあまり病気をおこさない様々な菌で感染（発熱性好中球減少症）を発症します。発熱性好中球減少症は時として重症化し、白血病の治療を行う上で最も注意すべき合併症です。この研究は発熱性好中球減少症の患者さんの臨床データを詳細に分析し、その特徴を明らかにすること目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

急性白血病の診断名で平成 2 年 1 月 1 日から平成 27 年 6 月 30 日の間に血液内科に入院され、抗がん薬による治療を受けた方

●利用するカルテ情報：入院日時、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査、細菌培養検査、画像診断結果、生理学的検査結果）、治療内容、治療費用

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院血液内科 担当医師 志関雅幸

電話 03-3353-8111（内線）28024 FAX 03-5269-7329